

## 名前 \_\_\_\_\_

基本メニュー（☆☆☆）…必ずやりましょう。

	チェック
① 週テストの復習用を解く	
② 授業用テキストを読み直す 太字になっている部分は書いて覚えるとよい。	
③ 宿題用テキストの基本問題A・基本問題B・復習問題を解く	

応用メニュー（☆☆）…基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題Aを解く	

発展メニュー（☆）…チャレンジしたい人はやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題Bを解く	

担当より一言

今回は、圧力について学習しました。

圧力については、 $1\text{cm}^2$ あたり何gかかっているのかを表すもの、ということがわかっているならば基本問題はそこまで苦労せずに解けるはずです。

断面積が違うガラス管やピストンをつないだもののつり合いを考えると、圧力が同じになれば良いということさえ押さえておけば計算は難しくはありません。

テキストの問題その2の(2)については、答えの数字を出すための考え方が重要になります。片方のおもりが重くなり、つり合いが崩れて水面の高さが変わったときは、低い方の水面の高さを基準として、水面が高い方は基準より上にある水がおもりのようにはたらいでつり合う、という考え方はぜひ知っておいてほしいものになります。

水圧については、もっとも重要となることは水面からの深さによって決まっているということと、深さに比例するという事です。物体を水に沈めたときは必ず下の面の方が上の面よりも大きな水圧がかかるので、その差によって浮力が発生しているというところまでつなげていきましょう。

気圧については、力学分野というよりも気象の分野で出てくることが多いので、ここでは簡単な紹介程度にとどめています。

※第6回G模試の範囲は第43回～第48回内容です。

※G模試終了後は、「入試期間中自由課題理科一行問題」に取り組みましょう。教材ダウンロードページにアップをいたします。自由課題ですが、理科を得意にしたい人は取り組みましょう。